



放課後の合唱練習 — 熱が入ってきました。(10月25日 3の1)

これからの自分の姿を1か月ごとに思い描いてみましょう。

11/27 5回目の学力テストを終え自己採点。志望校の目標点数に近づき自信を持つ。

12/27 冬休みに入り4日目。猛勉強の合間に卒業文集の原稿を書いている。

1/27 県立前期出願に向け、入学願書を清書した。いよいよだ。気持ちが引き締まる。

2/27 卒業式の練習が始まった。放課後は前期選抜の面接練習に取り組んでいる。教室には卒業までのカウントダウン12日。

「そんなにうまくいかない…」特に点数についてそう感じている人がいるかもしれません。

でも、これからは大切じゃないかと思うのです。

ある老作家が自分の人生を振り返り次のように述べていました。「過去を振り返り今を見れば確かに一番老いている。しかし未来をのぞめば今が一番若い。」年老いた人でさえそう。ましてや中学生は。

未来を思い描き、今、全力を尽くしましょう。努力があなたの目標をきっとたぐり寄せます。

3/27 届いた真新しい高校の制服に袖を通す。

1か月後

夢

表の「卒業文集」の言葉に誘われ、これまで書いた私の原稿を読み直してみました。ここ数年は、その年に一番印象に残ったことを中心に、冬休み中の大晦日に文字に残しています。2年前の文集に寄せた「夢」と題した私の文を紹介します。

夢

中学校の美術教師になり 38 年目を迎えました。

最近見る夢が少し変です。忘れ物をしたり宿題を出さずに先生に叱られている…。自分が生徒の立場になり失敗している場面が多いのです。ハッとして眼を覚まし、どうしようと本当に焦っている私。少し間を置いて、「そうだ。自分は教師だった。生徒ではないからこれは夢だ。」と安心するのです。この歳になってもこんな夢を見る自分に少し苦笑してしまいます。

昨年末に十数年来の願いがかないました。世界的な建築家・安藤忠雄さんが設計した美術館を訪ねることができたのです。いわき市の豊間にある絵本美術館です。幼稚園の附属施設であり、普段は公開されていません。時間に余裕ができた昨年夏に見学の希望を伝えたところ、招待状が届いたのです。

美術館を訪れて驚きました。吹き抜けの壁面を絵本を並べた大きな本棚が埋めています。それを取り巻く階段や通路が、迷宮のように館内を巡っています。そしてステキなクリスマス飾りの数々…。

すばらしい体験も、時が過ぎれば色あせます。自分が見たことや感じたことを言葉に残しておこう。冬休みに入り、施主(幼稚園長さん)や設計者(安藤さん)、施工者の三者の思いを調べたり、勝手に想像しながら文章にまとめました。

その過程で、中学や高校生頃の自分がよみがえってきました。中高とも美術部だった。建築に興味を持ったのは高校2年生の時。理系クラスの私は、建築学科の大学を受験したんだっけ。自分が最終的に選んだ進路は、好きだった美術と建築の中間にある彫刻の世界。それを学べる教員養成大学の美術科でした。

絵本美術館訪問という体験が、中高生の頃の夢と 60 歳を過ぎた私を輪のようにつないでくれました。

無我夢中で過ごしてきた 40 年余りの教員生活。様々なことがあった年月でした。そんな中で「これで良かったのだろう」と自分を肯定し、これからやりたいことが少しずつ見えてきた私があります。

3年生の皆さん。卒業おめでとう。
今、夢を持っていますか。ぜひ、その夢を持ち続けてください。



絵本美術館からの招待状

【学年目標】 ■自ら判断し行動し下級生の模範となる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒
■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1
電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338